
LUNCH LOVE

はっぴ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

L U N C H L O V E

【Nコード】

N 4 8 1 6 B

【作者名】

はっぴ

【あらすじ】

和葉と平次の物語です♪ある日、和葉は平次の誘いを断って、ある男とお昼を食べていた。平次はそれにやきもちを焼いてしまう。2人のハッピーエンドのお話です♪

「平次いゝ！ちよつと、何処行くん？」

「帰るんや！い・え・に・な！」

学校帰り、平次はかばんを肩にかけながら、不機嫌そうな顔でスタスタと歩いていく

そんな平次を、和葉は必死に追いかける

「ちよ、ちよつと平次！何怒ってるん？あたし、平次を怒らせるよ
うなことでしてへんで？」

「しとつたわ！！！」

和葉は、首をかしげた

それは、数時間前のこと

四時間目の授業が終わり、お昼タイムとなる

「和葉、屋上に食べに行かへんか？」

平次は和葉の机に歩みよる

「あっ！ゴメン、平次……………今日はもう先約があるんよ！！せやか
ら、明日な」

そう言うと、和葉はお弁当を持って教室から出て行った

「だ、誰なん？先約って……………」

平次は、ムツとした顔をする

（先約が誰か、確かめたる……………）

平次は和葉の後を、気付かれないように追っていった

すると和葉は、外にあるベンチに座った

それから、キヨロキヨロとあたりを見渡す

平次は、近くの木の後ろからひょこつと顔をのぞかせる

（誰や？誰を待ってるんや？！）

それからずっと見てみると、和葉の近くに一人の男が寄っていった

「ゴメンな、和葉ちゃん！遅れてしもうて……」

「うっん、全然ええよ」あんまり待ってへんし」

その男は、和葉の隣に座る

和葉の隣に座った男は、和葉と同じ部活動の先輩

橋口真吾はしぐち しんご

（なんや、なんや、なんやあ！？も、もしかして……あの男と和葉は……）

平次はクルツと体の向きを変えて、走って校舎の中へと戻っていった

平次が校舎に戻ってお弁当を食べているころ、外のベンチでは会話がはずんでいた

「ほんで、もうすぐ試合が行われる時期やろ？せやから、選ばれるか不安で不安で……」

「和葉ちゃんなら、大丈夫！！絶対選ばれるって」

もうすぐ、合気道の試合が行われるのだ

橋口は、合気道部のキャプテン

合気道の試合のことで、和葉は相談していたのだ

「ほ、ほんま？」

「ほ・ん・ま」

和葉は、ニツコリ笑った

「やっぱり、先輩にそう言われると安心するわぁ」

「そう言ってくれて、嬉しいで」

橋口もにこつと笑う

お弁当を食べ終え、二人は別々に校舎に戻っていった

そして今、学校帰り、こんな状況になっている

「なあ、平次！！」

和葉はやっと平次に追いつき、隣についた

「……………やかましいわ、アホー！」

「平次が言うてくれないからやるおー！」

和葉は口をとんがらせた

「……………と食べてたやる」

「え？」

「橋口先輩と食べてたやるおー！？おーひーる！」

和葉はそれを聞いて、クスツと笑った

「平次、もしかして勘違いしてるん？橋口先輩は、合気道部のキャプテンやで？ほんで、今度の試合が心配やったから相談してたんよ？」

「……………ほ、ほんまかあ……………」

平次の声が、だんだんと小さくなっていく

逆に、和葉の声はどんどん大きくなっていく

「ああー！もしかして平次、やきもち焼いてたん？」

「……………」

「そつなんやな！その無言が示してるでえー」やきもちかあ、平次もやきもち焼くんね」

和葉はめいいつぱいの笑顔で、平次をからかった

「そ、そんなんちゃう」

平次は顔を赤くした

「アハハ」顔、赤くなつとるでえ！！そんなにうちのこと好きなん？」

「……………好きや」

「え？」

和葉は耳を疑った

「へ、平次……………今なんて」

「……………」

平次は何も言わない、ただ早足でスタスタと歩いていく

和葉は立ち止まった

「あたしも……………あたしも好きやで！！平次」

和葉は、平次の背中に笑顔を向けた

和葉からは見えないが、平次の顔には今までにない笑顔が浮かんでいた

「待つてや、平次♪」

二人は歩いていく

お互いの腕と腕をからめて

（後書き）

読んでくださった方、ありがとうございます

初めての和葉×平次です！！こんな感じでしょうか？？こんな感じですよね！！

今回も、文章は少し分かりづらい部分があったと思います。もっと頑張りますので、これからも宜しくお願いしますネ♪

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4816b/>

LUNCH LOVE

2010年10月9日00時36分発行